

第 23 回「環境放射能」研究会 プログラム

(開催方法 : リモート)

2022 年 3 月 8 日(火)

開会 (13:00 - 13:10)

開会挨拶 (日本放射化学会・篠原厚会長)

概要・注意事項説明 (事務局)

発表時間 (質疑含む) 依頼講演 (依頼講演 1~4) : 40-60 分
口頭発表 A (A - 1~16) : 20 分、口頭発表 B (B - 1~29) : 8 分

セッション1 (13:10 - 15:10)

A-1 飯舘村現地からの放射能汚染実態報告

飯舘村民 (飯舘村放射能エコロジー研究会) 伊藤 延由

A-2 放射性セシウムは森林生態系内を循環し続けるのか: 樹木の各部位およびリターに対する浸出試験

森林総合研究所 眞中 卓也

A-3 Development of, and Use case for MASSIVES - a Multi Agent Speedy Simulated Interactive Visual Evacuation System

Visible Information Center Inc. Martin Andersson

依頼講演-1 廃炉の状況と環境回復の観点から

日本原子力研究開発機構廃炉環境国際共同研究センター 岡本 孝司

セッション2 (口頭-B:B-1~14)(15:30 - 17:30)

B-1 別府湾堆積物に存在する極微量放射性核種ウランの同位体の分析
~人新世の時代区分定義への取り組み~

筑波大学理工学群 高橋 穂高

B-2 原爆由来の不溶性降下物探索のための基礎データの収集

京都大学複合原子力科学研究所 東江 直樹

- B-3 金属スクリーンを用いた ^{13}N -エアロゾルの粒径分布測定を試み
京都大学複合原子力科学研究所 沖 雄一
- B-4 X線吸収微細構造解析を用いた土壌に添加した安定ルテニウムの短期間における化学形態変化調査
環境科学技術研究所 海野 佑介
- B-5 顕微ラマンマッピングによる二酸化ウラン粒子の化学状態分析
日本原子力研究開発機構 蓬田 匠
- B-6 SK-Gdによるニュートリノ検出に向けた硫酸ガドリニウム中の Ra-226 質量分析法の確立
筑波大学理工学群 榊枝 優真
- B-7 福島第一原発事故 10 年後におけるコバネイナゴの放射性セシウム濃度
東京農業大学国際食料情報学部 富田 響
- B-8 野生ニホンザル体内の放射性セシウム濃度および被ばく線量評価と体内酸化ストレス状態の関係
東北大学災害科学国際研究所 石川 諒椰
- B-9 植物の Ca による Cs 吸収抑制効果
環境科学技術研究所 木花 将
- B-10 落葉樹の葉中の Be-7 と Cs-137 濃度の季節変化
量子科学技術研究開発機構 田上 恵子
- B-11 福島県浜通り地域における野草と土壌の ^{137}Cs について
大阪大学工学部 登尾 悠平
- B-12 Sr 特異的吸着剤による魚介類中の ^{90}Sr の測定
愛知医科大学 小島 貞男
- B-13 Optimization of collision/reaction gases in ICP-MS/MS for Sr-90 determination in urine
量子科学技術研究開発機構 楊 国勝
- B-14 土壌混合ジオポリマー固化法を用いた都市ごみ焼却飛灰中 ^{137}Cs の不溶化
明治大院理工 齋藤 凜太郎

口頭発表-B (B-1~14) 質疑時間(ブレイクアウトルーム) (17:30 - 18:10)

2022年3月9日(水)

セッション3 (9:00 - 10:40)

- A-4 活魚測定による帰還困難区域の山地溪流に生息するヤマメ・イワナの Cs-137 濃度の個体別追跡調査
茨城大学 近藤 陸人
- A-5 帰還困難区域の山地溪流に生息する大型無脊椎動物の放射性セシウムについて
茨城大学 小川 侑真
- A-6 海底周辺の海水とカレイ類筋肉中に含まれる ^{137}Cs 濃度の関係
水産研究・教育機構 重信 裕弥
- A-7 海水循環トレーサー利用に向けた極微量放射性核種 ^{135}Cs の測定法確立
筑波大学 椎根 大輔
- A-8 日本周辺の海水および海産魚類筋肉におけるトリチウム濃度について
水産研究・教育機構 三木 志津帆

セッション4 (11:00 - 11:40)

- 依頼講演-2 放射能計測 -安全管理から環境放射能-
愛知医科大学 緒方 良至

セッション5 (12:50 - 14:20)

- A-9 カキおよびクリにおける発芽前に側枝先端結果母枝に施与された ^{137}Cs の移行特性
福島大学 佐藤 守
- A-10 土壌中の ^{237}Np と Pu の分布について
量子技術研究開発機構 福田 美保
- 依頼講演-3 中間貯蔵施設事業の状況
中間貯蔵・環境安全事業(株) 今井 啓祐

セッション6 (口頭-B:B-15~29) (14:40 - 16:45)

- B-15 多摩川集水域における河川水中溶存態放射性セシウムの広域観測
明治大学院理工 猪瀬 聡史
- B-16 福島沖の動物プランクトンにおける Cs-137 濃度の変動は群集構造や栄養段階構造から説明できるのか? : 2018 年および 2020 年の結果より
東海大学海洋学部 山田 萌々加
- B-17 福島沖における海洋環境中の放射性セシウムの濃度変動について
量子科学技術研究開発機構 青野 辰雄
- B-18 非整数階微分拡散方程式による赤城大沼湖水中の Cs-137 濃度の時空間変化の再現
筑波大学理工学群 赤崎 健太郎
- B-20 ベーリング海における放射性炭素 14 の鉛直分布の経年変化
海洋研究開発機構 熊本 雄一郎
- B-21 Analysis of ^{210}Pb deposition distribution in winter at Rokkasho based on high resolution atmospheric transport/deposition model calculation
名古屋大学工学研究科 CAI Yu
- B-22 The behaviour of ^7Be and ^{210}Pb in surface air at Osaka, Japan, and the size distributions of the major chemical composition of aerosols attached by ^7Be
Osaka Sangyo University Pannipa Noithong
- B-23 イメージングプレートを用いた歯中放射性核種推定のための数値シミュレーション
東北大学理学部 尾田 晃平
- B-24 現地実証から評価したゼオライトによる水稲への放射性セシウム吸収抑制効果の持続性
福島県農業総合センター 松岡 宏明
- B-25 電解濃縮装置トリピュア(TRIPURE)を使用したトリチウム分析法
いわき放射能市民測定室たらちね 木村 亜衣
- B-26 Distribution and source of Pu and ^{241}Am in agricultural soils: re-estimation of global fallout $^{241}\text{Am}/^{239+240}\text{Pu}$ ratio
量子科学技術研究開発機構 鄭 建
- B-27 福島原発事故に由来する不溶性放射性微粒子の模擬生成実験
京都大学複合原子力科学研究所 稲垣 誠
- B-28 「放射線発生装置廃止のための放射化測定評価マニュアル」の発行と今後の予定
高エネルギー加速器研究機構 松村 宏
- B-29 可搬型 γ 線イメージング装置 GeGI5 を用いた加速器放射化評価への応用の見込み
高エネルギー加速器研究機構 吉田 剛

口頭発表-B (B-15~29) 質疑時間(ブレイクアウトルーム) (16:45 - 17:25)

2022年3月10日(木)

セッション7 (9:00 - 11:00)

- A-11 ESR測定における低線量被ばくをした歯の測定条件の検討
東北大学大学院理学研究科 光安 優典
- A-12 酸素、アンモニア混合ガス反応とICP-MS/MSを用いた微量試料用⁹⁰Sr分析法の開発
日本原子力研究開発機構 小荒井 一真
- A-13 前処理段階における試料の加熱温度とウラン粒子の結晶性、二次イオン発生効率の変化
日本原子力研究開発機構 富田 涼平
- A-14 食品環境放射能標準物質の開発と普及の10年そしてこれから(1)米・土壌
武蔵大学 薬袋 佳孝
- A-15 存在度の低いウラン同位体比分析のための模擬核物質粒子の作成
日本原子力研究開発機構 富田 純平
- A-16 模擬ガラスを用いた放射性セシウム含有微粒子の溶解特性評価
東京大学 奥村 大河

セッション8 (11:20 - 12:00)

- 依頼講演-4 放射性核種とともに流されて
筑波大学 末木 啓介

閉会 (12:05 - 12:20)

研究会奨励賞表彰式

閉会挨拶 (高エネ研放射線科学センター・佐波俊哉センター長)